



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Report Niigata



インスピレーションになろう

国際ロータリー

2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう



2018～19 年度
新潟ロータリークラブ会長
若槻 良宏

新潟 RC 3月第 2 例会 (2019.3.12) No.3273

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 小山 楯夫副会長挨拶

1 ポンド野郎スチュワート・モロー

本日は、若槻会長が所用のため、副会長の小山が替わってお話させていただきます。

ロータリークラブの例会で、ソロプチミストクラブとライオンズ・クラブのお話することは、如何なものかと思いましたが少々お話致します。

以前、「ソロプチミストクラブの歴史」という冊子を読む機会がありました。すると、2680 地区 PDG 尼崎西 RC 田中 毅氏の「ロータリーの歴史探訪」に出ていたスチュワート・モロー Stuart Morrow と云う名前が載っており驚きました。

最初イギリスにできた8ロータリークラブの内、他の6クラブは、元サンフランシスコ・クラブ会員スチュアート・モロー Stuart Morrow の働きによるものといわれています。イギリスにロータリー活動をもたらした功績者として、モローに賛辞を贈る人がいる一方で、彼が新クラブ会員から1ポンドずつピンハネしていたことを以って、彼の動機に疑問を投げかける人も多くいます。(田中 毅 著) 上記アンダーラインの部分に裏付けるような記載があり、以下はその「ソロプチミストクラブの歴史」からです。

(前略)

第1 次世界大戦直後の時期(1920～21 年)、女性の権利と地位は飛躍します。

(中略)

スチュワート・モローがオークランドの秘書学校長アデレード・E・ゴタード夫人に会ったのは、女性の能力が正当に見つめられるようになった(第一次)大戦直後です。彼は 1905 年に設立されたロータリークラブなど、男性奉仕クラブの組織指導者でした。ゴタード夫人との会話が「職業別による女性クラブの組織」のヒントになり、6 ヶ月後、最初のソロプチミストクラブがカリフォルニアで出発することになります。調査と会合の為に、ついでにやされたこの6 ヶ月の間に、モローは初代会長ヴァイオレット・リチャードソン(後のワード夫人)や有力な創立メンバー、エロイズ・カッシングに出会う幸運がありました。

1921 年 10 月 3 日、世界で初めてのソロプチミストクラブの発会式が行われ、80 人の女性が集まりました。オークランドクラブを名乗るまで、このクラブはアラメダ郡ソロプチミストとよばれていました。

(中略)

アラメダクラブが行った最初のプログラムの一つは「赤色衫を救おう」というキャンペーン協力でした。そして、更正婦人寮の暖房設備の供給、YWCA の補導「service」の協力、クリスマスに3 軒の貧困家庭の世話など、地域社会に積極的に奉仕・慈善活動する事から始められました。

こうした地域奉仕活動に加えて、他の都市にもクラブを組織する事が提案され、モローは、東部へ、アラメダクラブはカリフォルニアの各都市へとその説得活動を精力的に展開していきま

す。オークランドの初代クラブの熱意はアメリカ各地に伝播し、1926 年には太平洋岸に 10 のクラブが結成されました。その中にカナダのバンクーバーも含まれていたことは、ソロプチミズムの国際的発展の可能性を一段と高めました。この 10 クラブが 1926 年にオークランドに会合をもち、連盟を結成するので

す。問題が生じました。潜在していた矛盾が表面化したと言うべきでしょうか。

モローは、1926 年当時、アメリカ東部からイギリス、ヨーロッパにクラブの結成のため説得旅行を続けていました。連盟の結成に付いては、彼は賛成しましたが、連盟の目的は曖昧でした。つまり、モローが所有者的役割をもっているため、ソロプチミスト組織のコントロールについて、彼と話し合うべき時機が到来したのです。

1927 年 6 月、サンフランシスコで行われた第2 回目の会合で、ソロプチミストクラブは、モローに経済上の解決案として、「5 千5 百ドル(組織買収)」を彼に支払う条件で「権利放棄」「今後 20 年間女性クラブをつくらない」ことを提案し、モローはこれに同意し、定められました。

ソロプチミストの歴史にとって、この会合の結果は快挙でした。何よりも、女性が女性を組織化できることを立証したのです。然し、クラブ結成初期のモローの尽力、介入は極めて有用で

あった事は云うまでもありません。1924年2月結成されたロンドン、同年10月のパリの各クラブはモローの努力なしには考えられない出来事といえましょう。

ライオンズ・クラブ

ライオンズ・クラブは国際的につながりのある**社会奉仕(慈善)団体**で、ライオンズ・クラブ国際協会といいますが、誕生地はアメリカです。今から約百年前にシカゴに住む若い保険会社社員であるメルビン・ジョーンズは、ある事業団(ロータリークラブ??)に加入して会員としてよく活動していましたが、何か飽きたらないものを感じ、社会のために何か有益な団体として改組できないものかという夢を抱きはじめ、国内の各種団体に呼びかけて、社会奉仕団体として改めることに成功し、1917年10月8日から3日間、22の各種の団体の代表者36名がダラスに集合して結成大会が開かれ、正式にこの大会において社会奉仕を目的としたライオンズ・クラブ国際協会が発足したのであります。(注・メルビン・ジョーンズについては、もともとロータリークラブに在籍していましたが、金銭的、団体的奉仕活動をするという考え方が受け入れられなかったために、ロータリーを離れてライオンズを作ったという説と、職業分類が充填されていたために、ロータリーに入れなかったのも、ライオンズを作ったという説があります。ある事業団に加入していたと記載されており、それがロータリーであったか否かは判りません。)

ライオンズ・クラブの性格と目的

ライオンズは国境を越えて、世界を一つに結び、人類愛に連なる社会奉仕団体です。その活動は自己の利益をもたらすためのものではありません。また宗教や、政治上の利益を目的としたものでもありません。勿論、単なる社交機関や慈善団体でもありません。徳性と知性・友愛と寛容の精神を養いつつ、その対価を目的としない純然たる社会奉仕をモットーとした団体であります。即ち**“We Serve われわれは奉仕する”**これが目的です。

(注・ライオンズは**職業奉仕団体**ではなく、人類愛に基づく**社会奉仕団体**、すなわち **ボランティア団体**であり、We serve を前提に奉仕することが明記されています。)

ライオンズのモットー We serve われわれは 奉仕する
ロータリーのモットー I serve 私は奉仕する

スローガン

自由を守り、知性を重んじ我々の国の安全をはかる

Liberty	自由
Intelligence	知性
Our	我々の
Nations	国の
Safety	安全

(注・Liberty, Intelligence, Our Nations Safety のそれぞれの頭文字を組み合わせると **LIONS** となります。)

(3) **ビジターの紹介**
・渡邊 肇君(宇都宮 RC),安藤 幸夫君(新潟東 RC)

(4) **米山奨学生 ソド チャンドマニチメグさんへ 奨学金贈呈・ご挨拶**

(5) **委員会報告**

・山田隆一会長エレクトより次年度委員会構成について説明とご協力をお願い

(6) **各種ご寄付の発表**

ロータリー財団寄付発表(秋山博一委員長)

福地 利明君 仙石 正和君

米山奨学会寄付発表(仙石 正和副委員長)

宇尾野 隆君 新田 幸壽君

吉田 和弘君

青少年育成基金寄付発表(細野義彦委員)

高橋 秀松君 新田 幸壽君

樋熊 紀雄君 田中堅一郎君

池上 茂樹君 細野 義彦君

(7) **ニコニコボックス紹介(武田 眞二委員)**

・宮島 多佳子君 塚田先輩、若槻会長、先日はニコニコをありがとうございました。初ニコニコします。

(8) **副幹事報告(秋山博一副幹事)**

・世界大会の登録希望者は若槻さん、宇尾野さん、内田さんでお聞きしていますが他に希望の方がいたら幹事までご連絡下さい。2560地区の夕食会の締め切りは3月28日です。

(9) **「障がい者の雇用に関するシンポジウムの報告」**
事業創造大学院大学学長 仙石 正和君

(10) **3月12日例会の出席率 71.43%**

会員数 93名(出席免除会員 9名)

出席者 65名(出席免除会員 7名を含む)

(2週間前メーク後 75.58%)

3月26日の例会予定

卓話「女性は酒に何を求めるのか？」

～にいがた美釀から学んだ日本酒の楽しみ方～

新潟青陵大学短期大学部人間総合学科助教

日本酒学講師 村山和恵氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>